

夢に向かって

たくさんの人を元気づけられるように――

大内 ^{みはな}美花 さん (県北中3年)

第20回



私の将来の夢は、絵に関わる仕事に就くことです。イラストレーターのような仕事にも興味があります。子どもの頃は絵を描くことがあまり好きではなかったのですが、小学5年生の時に友人に絵の描き方を教えてもらい、少しずつ絵が上手くなったことがきっかけで、絵を描くことが好きになりました。今では、大切な趣味のひとつになっています。

絵の魅力は、以前に描いた絵を自分で見返すと、実際に目で見て成長を感じられること。また、楽しい時や悲しい時など、自分の感情を絵で表現できることです。

今は受験勉強もあるので、志望校合格を目指して毎日勉強に集中しています。以前のように好きな時に好きな

だけ絵を描くことは難しくなっていますが、描きたいと思った時には少しだけでも絵を描いて、絵を描くことが嫌いにならないようにしています。

今後は人体の構造などもきちんと勉強して、よりリアルな人物を描けるようになりたいです。SNSなどでも作品を発信してみたいです。大勢の人の目を惹いて、見た人を元気づけられるような作品を描けるよう、高校生活やその先でもいろいろな人生経験を積みたいと思っています。絵を描くことの面白さを多くの人に伝えていけるように努力を続けていきます。



町長コラム

ま
真こらむ

【第29回】

真っ白い心と育む理由

台詞が出てこない子にそっと教えてあげる子、途中で泣き出した子を励ます子、失敗しても縄跳びを最後までやり遂げる子、笑顔で先生とハイタッチしながら教室へ戻る子、お母さんやお父さんに手を振る子…。

幼稚園の「せいかつはっぴょうかい」。新型コロナウイルスのことがあったから、初めての参観。ロバ、ネコ、タヌキ、カラス、海賊、ピクミンに扮した子たちが精一杯自分を表現するのを見ながら考えた。彼らも幼稚園という集団の中でケンカもするし、思うようにいかない自分や友だち、先生への怒りや苛立ちはあるんだろうな。でも、それらを出し尽くしてしまうと、ケロツとした顔で仲直りしたり、素直に言い付けを聞いたりするんだろうな。子どもたちの、何かに染まらない真っ白い心、純な心持ち。そのあり様、尊さを想像した。感じた。心に刻んだ。

子どもと一緒に先生たちも奮闘。演技指導、子どもたちの衣装、被り物、背景といった大道具の準備など、全て自分たちで行った。劇中の選曲も秀逸。“We Will Rock You(Queen)” “ロッキーのテーマ(サウンドトラック)” “アイドル(YOASOBI)” “できっこないをやらなくちゃ(サンボマスター)” など。

先生たちの頑張りには「仕事だから」だけではない、聞いたらきっとグツとくるワケがある。舞台袖で見守ってた先生の表情が、子どもたちの発表が終わった途端、パッと輝くのを見て確信。

で先生、この日の昼ご飯は格別だったよね。 引地 真

